

没後20年

具休の画家——正延正俊

2015年8月9日[日]—9月28日[月]

会期中無休

Masanobu Masatoshi A Gutai Painter

August 9 – September 28, 2015

開館時間 午前9時—午後5時(入場は午後4時30分まで) * 展覧会初日は開展式のため午前10時から開場いたします。
主催 高知県立美術館 後援 高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、
KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、NHK高知放送局、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、
高知シティFM放送 特別協力 西宮市大谷記念美術館 助成 芸術文化振興基金

観覧料 一般前売660円・一般870円(660円・大学生570円(460円)・高校生以下は無料
*()内は20名以上の団体割引料金。*年間観覧券所持者2580円は無料。*身体障害者手帳、療育手
帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名、高知県及び高
知市の長寿手帳所持者は無料。*観覧料はすべて税込価格
前売券発売所 高知県立美術館ミュージアムショップ、高新ブレイガイド、高知市文化プラザミュージアム
ショップ、高知大丸ブレイガイド、サニーマート(一部店舗を除く)、高知県庁生活売店(うち生活協同組合、
ホームセンターマルニ・イエローハット・アシストファーム・ホームセンターハーマート(一部店舗を除く)、
ローソンチケット(コード69061) *ローソンチケットのみ県外店舗でも販売しています)

正延正俊は、1911(明治44)年高知県高岡郡須崎町(現在の須崎市)に生まれ、高知県師範学校専攻科を卒業。高知、東京、神戸で小中学校の美術教員として教鞭をとるかたわら画家として活動しました。後年は西宮に自宅とアトリエを構えています。

正延は戦前から公募展などに出品していましたが、1948~49年頃、神戸市民美術教室に講師として訪れていた吉原治良に出会い、指導を仰ぐようになります。以後、構成的な風景画や静物画から次第に複雑なマチエールをもつ抽象画へと展開し、1954年吉原を中心とする具体美術協会の結成に参加。アクションやパフォーマンス、また新たな素材を導入した絵画によって戦後日本を代表する前衛美術グループとなった「具体」にあつて、しかし正延は、一貫して絵画の内在的問題に向き合いました。

油絵の具やエナメル塗料で幾層にも塗り重ねられた地肌。その上に置かれたおびただしい数の微細な筆触。正延の絵画は、揺らぐような空間の密度を感じさせながら、無限に変転する様を映し出しているかのようです。「生きる気持の直接的表現」と自ら称した芸術世界は、いったいどのように生み出されていったのでしょうか。本展は、「具体」のみならず、戦後の美術史において独特の光彩を放つ画家・正延正俊の没後20年を記念して、初期から晩年までの代表作を一堂に集め、その知られざる画業を紹介します。

Masanobu Masatoshi was born in Susaki-chō, Takaoka-gun (now Susaki City), Kochi Prefecture in 1911. After graduating from the Kochi Prefectural School of Education, he worked as an art teacher in a number of elementary and junior schools in Kochi, Tokyo, and Kobe while pursuing a career as a painter. In his later years, he built a house and studio in Nishinomiya.

Masanobu began submitting his work to invitational exhibitions before the war. In 1948 or 1949, he met Yoshihara Jirō, when the latter came to teach at the Kobe Citizen's Art Course, and began studying with him. Masanobu's work gradually evolved from constructed landscapes and still lifes to abstract paintings with complex textures. In 1954, he helped found the Gutai Art Association, under Yoshihara's leadership. Though Masanobu was involved with this important postwar Japanese avant-garde art group known for its actions, performances, and introduction of new materials, he consistently focused on the intrinsic problems of painting.

In many of his works, Masanobu created multi-layered textures with oil and enamel paint on top of which he applied countless minute brushstrokes. While conveying a wavering sense of spatial density, his paintings depict an endless series of changes. How did Masanobu arrive at this unique artistic approach, which he described as a "direct expressions with a sense of life"?

In this exhibition, marking the 20th anniversary of the artist's death, we not only examine Masanobu's work with Gutai but the entire career (including previously unknown paintings) of one of the most brilliant figures in postwar art in Japan.



1



2



3



4



5



6

関連イベント

ワークショップ&トーク

「手を動かすことで見えてくる世界」

一見単純な行為も繰り返していくと不思議なことが起こります。

実際に手を動かして確かめてみましょう。

講師 | 倉科勇三(園田学園女子大学短期大学部准教授、造形作家)

日時 | 8月29日[土]14:00-

場所 | 1階 創作室

定員 | 20名程度

参加者 | 中学3年生以上

参加費 | 無料(観覧券をお持ちください)

*電話予約が必要です。予約は7月29日から受け付けます。

TEL 088-866-8000

記念講演会

「前衛を目指した高知の画家―正延正俊の作品」

高知県出身の正延正俊は、いま世界の美術界で注目される戦後日本美術の前衛「具体美術協会」の創立メンバーの一人です。神戸で教員生活を続けながら、前衛美術家として活動した生涯を具体的な歴史とともにお話します。

講師 | 河崎晃一(甲南女子大学教授)

日時 | 9月5日[土]14:00-

場所 | 1階 講義室

定員 | 50名

*聴講無料(観覧券をお持ちください)

担当学芸員による

ギャラリートーク(作品解説)

会期中の毎日曜日、担当学芸員による作品解説を行います。観覧券をお持ちのうえ、直接会場にお越しください。

* 毎回14時~15時

* 9月6日は手話通訳つき、9月13日は英語通訳つきのクイックガイドとなります。

無料託児サービス

日時 | 9月9日[水]-13日[日] 各日10:00-12:00、13:30-15:30

定員 | 各回10名

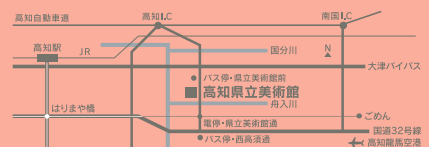
料金 | 無料(要観覧券)

対象 | 本展を鑑賞される方のご家族で、生後6ヶ月から就学前のお子さま

申込方法 | お電話で仮予約の上、申込書を9月2日[水]までにお送りください。

交通案内

路面電車 | はりまや橋からとさでん交通路面電車「ごめん」「領石通」または「文珠通」行きで15分、「県立美術館通」下車。北へ徒歩5分とさでん交通バス「医大病院行き」で「県立美術館前」下車すぐ、「高知県立大学・医療センター行き」で「美術館通」下車徒歩5分。
車・タクシー | JR高知駅から20分、高知龍馬空港からは30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分(無料駐車場は普通車144台、バス専用10台)
空港連絡バス | 高知龍馬空港から高知市内一空港間を結ぶ連絡バス「西高須通」で下車徒歩約10分



高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI
〒781-8123 高知市高須353-2 TEL 088-866-8000 FAX 088-866-8008
http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum

1《円樹風景》1949年 Landscape with Round Trees, 1949

2《風景》1950年 Landscape, 1950

3《黄の塑像》1953-57年 Yellow Clay Figure, 1953-57

4《作品》1960年 国立国際美術館 Work, 1960, The National Museum of Art, Osaka

5《作品》1958年 北九州市立美術館 Work, 1958, Kitakyushu Municipal Museum of Art

6《作品 100M》1961年 兵庫県立美術館(山村コレクション)

Work 100M, 1961, Hyogo Prefectural Museum of Art (Yamamura Collection)